



# まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No.146

平成28年(2016)  
1月25日

主な内容

12月定例会のあらまし	2
一般質問	2
各会派討論の内容	7
常任委員会の審査報告	9
議案・請願の採決結果	10
請願・決議	12
特別委員会の活動	12
3月定例会予定	12
編集後記	12

●三宅住宅の建て替えに伴う既存住宅の除却工事等に9400万円、  
学校体育館等のつり天井の撤去、補強等に8062万円などの  
平成27年度一般会計補正予算を可決

一年の無事  
市民の安全・安心を願って……



(1月10日 消防出初式の一斉放水)

# 12 月定例会のあらまし

## ●文化振興条例を制定

文化の振興に関する基本理念を定め、市の責務、市民と事業者の役割を明らかにし、文化の振興に関する市の基本的施策等を定める「舞鶴市文化振興条例」を可決

## ●舞鶴産のお茶の生産振興・普及促進条例を制定

由良川流域で生産されるお茶が全国茶品評会で4年連続全国産地賞第1位という高い評価を受けたことに鑑み、市、生産者及び市民の役割等を定め、舞鶴産のお茶の生産振興と普及促進を図る「舞鶴産のお茶の生産振興及び普及促進に関する条例」を議員提案により全会一致で可決

◎舞鶴市議会は、平成27年12月定例会を11月27日から12月25日までの29日間開催し、市長から提案された平成27年度補正予算や条例制定などの24議案を審議した結果、いずれも原案のとおり可決・同意としました。また、議員提案の条例1件と決議2件(12分)を可決、任期満了に伴う選挙管理委員及び同補充員を選出、請願1件(12分)を採択しました。

### 平成27年 舞鶴市議会 12月定例会一般質問

平成 27 年 12 月 7 日、8 日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一括	高橋 秀策	1 水道ビジョンについて
			2 公共施設トイレについて
			3 ゆとり空間の創出について
			4 小中一貫教育基本方針について
2	一括	井上 孝空	1 森林環境問題について
			2 舞鶴市の教育環境について
3	一問一答	後野 和史	1 原発再稼働と中間貯蔵施設について
			2 府立高校の再編・統合問題について
			3 地方創生とまちづくりについて
4	一問一答	上羽 和幸	1 子育て支援について
			2 引きこもり対策について
			3 犯罪被害者支援について
			4 安心・安全について
5	一括	福村 暉史	1 北陸新幹線の延伸ルートについて
			2 日本遺産の認定に向けた取り組みについて
			3 LNG受入基地について
			4 乳幼児教育ビジョンについて
			5 高齢者福祉について
6	一括	西村 正之	1 企業誘致の現状と展望について
			2 自衛隊舞鶴基地関連補助金等について
			3 学校防球ネットについて
7	一括	谷川 眞司	1 街路灯のLED化について
			2 有害鳥獣対策について
			3 観光振興について
8	一問一答	伊田 悦子	1 安保法制の廃止で、市民の一人でもある自衛隊員のいのちを守ること等について
			2 人間らしく働くルールの確立について
			3 子どもの医療費助成をさらに拡充することについて
9	一括	杉島 久敏	1 認知症対策について
			2 薬物乱用防止について
			3 18歳選挙権導入について
10	一括	鯛 慶一	1 文化公園体育館について
			2 赤れんがパークについて
			3 原子力防災について
11	一括	肝付 隆治	1 地域コミュニティの活性化について
			2 学校を核とした地域コミュニティの活性化について
12	一問一答	小杉 悦子	1 マイナンバー制度について
			2 介護保険について
			3 国民健康保険について
			4 地域医療について
13	一括	小谷 繁雄	1 読書活動の推進と充実について
			2 チーム学校における効率的・効果的な業務推進について
			3 地域活性化の拠点について
14	2分割	石束 悦子	1 「原子力災害から市民を守る」ことについて
			2 国会決議違反のTPP交渉からの撤退を求めることについて
			3 どの子も等しく保育を受ける権利について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※一括…全ての質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※一問一答…全ての質問項目を一括して質問するのではなく、一問ごとに質問し、その都度、答弁を求める質問の方式

※分割…全ての質問を分割し、分割した区分ごとに一括して質問し、その区分ごとに一括して答弁を求める質問の方式

平成27年12月7日、8日 本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

### 一般質問

#### 学力日本一を目指そう



創政クラブ議員団  
高橋 秀 策

**質問** ふるさと舞鶴を愛し、夢に向かって将来を切り拓く子どもの実現を目指して「小中一貫教育基本方針」が示され、その効果に大いに期待を寄せるものであるが、①教育委員会の役割②教職員の理解促進③地域ぐるみの教育環境づくり④モデル校区について伺う。

**答弁** ①義務教育課程9年間を見通した教育課程の編成や、教職員の研修、保護者・地域への説明会の実施などを進める。②研修会、先進地視察、講演会などに取り組み。③全中学校区に学校支援地域本部が設置できるよう取り組む。④小中連携事業の実績や、学校と地域の取

り組み、中学校区の規模など総合的に勘案し、城北・加佐中学校区とした。

#### キッズトイレ設置を

**質問** キッズトイレの設置について、子どもたちが多く利用する施設にぜひ設置を、また、公共施設に一方所設置できないか尋ねる。

**答弁** 実際の子どもの利用状況に合わせて、改修時には子どもトイレの設置について、十分検討していく。



キッズトイレ

#### 森林環境保全には制度の継続を



鶴翔会議員団  
井上 孝 空

**質問** 平成28年までは「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」という国の助成制度が活用できる。この制度は里山整備に取り組み有効な制度であり、本市の森林環境を保全するためにも必要不可欠である。平成29年度以降の制度継続を、市として、国、府に対し積極的に要望すべきと考えるが、その見解を問う。

**答弁** 地域が主体となり、継続的に行われる里山の環境保全活動が少しずつ浸透し始めてい

る。これらの地域活動を引き続き支援していくとともに、本制度の継続に対する要望についても、活動組織の意向も踏まえ、検討してまいりたい。

#### 薬物防止教育を問う

**質問** 児童生徒の大麻の吸引が報道され社会で大きな問題となっている。本市での薬物防止教育を問う。

**答弁** 薬物乱用防止教育は、毎年、小・中学校で保健所や警察などの協力を得て実施、「学校だより」、「保健だより」などで保護者の理解促進を図っている。



薬物乱用防止

#### 住民説明会は原発再稼働の判断のためか



日本共産党議員団  
後野 和 史

**質問** 住民説明会は再稼働の判断のための開催ではないか。京都市内の避難所の中に、民間企業に長期貸与する方針の15の元小学校跡地が含まれているが、抗議したのか。市避難計画の実効性はあるのか。地域の要支援者は、自治会が責任を持つのか。

**答弁** 市民の理解を深め疑問に答える中で、今後の地域協議会の議論に活かすもの。京都

市は舞鶴市分で7万9千人分の避難所を確保しており支障がないとしている。計画の改正により実効性あるものにする。歩行できる方は地域住民とともに避難し、集結場所から配車するバスで避難する。

#### 高校格差は拡大した

**質問** 府立高校入試制度の変更で学校間格差が広がったが、国立大学合格者数の現状はどうか。府立高校再編・統合の検討への市の見解を問う。

**答弁** 中丹通学圏の府立高校では綾部11、福知山103、工業9、大江と東舞鶴0、西舞鶴64人。将来の夢の実現へ魅力ある高等教育推進を望む。



関西電力高浜発電所3・4号機

平成27年12月7日、8日 本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

## 一般質問

### 災害に対する 安心安全の対策を



公明党議員団  
上羽 和幸

#### 質問

①大災害の経験から防災・減災のために考案されたのがDIG、HUGなどの災害図上訓練である。出前講座に加えていただきたいがどうか。②マンホールトイレは災害時の避難所で、迅速な設置が可能で汲み取りの必要がないなど、良質なトイレ環境を確保するため推奨されてきた。整備の考えを聞く。

#### 答弁

①地域防災力に寄与するため、指導者育成も含め検討していく。②場所や規模、優先順位、携帯・仮設トイレの備蓄も含め総合的に検討したい。

#### 中小河川の安全は

#### 質問

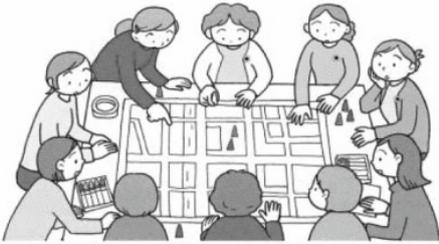
①近年は集中豪雨で中小河川も浸水被害に見舞われることが多発しており、身近

な河川に不安を感じている市民は多い。祖母谷川の他、安全はどのよう確認しているか。

②河川の中に生い茂った竹や草に、流木などが堆積し災害につながる危険はないのか聞く。

#### 答弁

①現場パトロールや情報を聞く中で、河川断面の確保など安全確認を行っている。②危険が想定されるものは浚渫を行っている。



災害図上訓練

### 北陸新幹線の 延伸ルートは



新政クラブ議員団  
福村 暉史

#### 質問

北陸新幹線は、敦賀以西ルートは、小浜ルート、米原ルート、湖西ルートの他に、第4の案として小浜・京都ルートが検討されていると聞く。今後、市はどのように取り組むのか。

#### 答弁

北陸新幹線を近畿の南北軸として位置付け、敦賀から小浜舞鶴を経由して京都に入り、天王寺を経由して関西国際空港を結ぶ新たなルート案も浮上している。市では11月に国に対し、京都府北部地域連携都市圏を経由するルートの実



安岡園の地蔵盆での楽しいひととき

現に向け要望を行った。  
老人ホーム安岡園は

#### 質問

養護老人ホーム安岡園は、昭和60年に設置され年数も経ており老朽化が進んでいると思われる。施設の今後のあり方をどのように考えているのか。

#### 答弁

昭和27年10月に若宮寮として発足、昭和60年4月に安岡地区へ移転改築した際に、舞鶴市安岡園と改称し、現在に至っており、建設から30年が経過し老朽化が進んでいる。検討の結果民間移譲との提言があった。課題解決に向け取り組む。

### 企業誘致活動の現状と 今後の方針は



会派に所属しない議員  
西村 正之

#### 質問

企業誘致は、国内8割の自治体が取組み地域間競争である。本市においても、高速道路ネットワークの整備、京都舞鶴港の機能強化など、製造業をはじめ物流産業などの誘致環境が整っていると考えられるが、本市の企業誘致活動に対する認識及び誘致戦略の方針について問う。

#### 答弁

企業誘致活動については、都市間競争が激化する中、本市においては、これまでから積極的な企業訪問活動を行い、京都府なども連携する中で、平成19年度から平成26年度までの8年間で、9件の新設と増設が実現し、約126億円の新規投資と、180人を超える新規雇用

が生まれおり、27年度においても喜多地区に新規立地が実現した。今後とも、高速道路ネットワークの完成や京都舞鶴港の機能強化など、本市のポテンシャルを最大限に活かし、関西における日本海側の拠点性といった本市の強みの発信をさらに強化して誘致活動に取り組んでまいりたい。



企業誘致活動の強化を

平成27年12月7日、8日 本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

有害鳥獣対策を問う



創政クラブ議員団  
谷川 眞司

**質問** 有害鳥獣の個体数を減らすためにどのような取り組みをされようとしているのかを問う。銃の使用に関しては、人家から200m以上離れていることなど規制が厳しいが、使用の許可緩和について尋ねる。

**答弁** 加害レベルの高い群れに対しては、今後とも積極的に捕獲を進める。さらに効果的、効率的な捕獲を進めるために、一定条件下での殺処分に限った装薬銃の使用要件の緩和について、国へ働きかけていくよう、京都府に要望している。

今後の観光振興策を問う

**質問** 地域消費の拡大、まち中への誘客と消費拡大に向けた取り組みなど、交流人口増

加に向けた今後の方向性や具体的な取り組みについて尋ねる。

**答弁** 具体的な支援策としては、観光産業育成支援事業やまいづる逸品づくり事業、創業おうえん奨励金の充実、免税店舗の拡大など、市内事業者が積極的に事業展開を進めていく中で、さらなる観光客の消費拡大に努めてまいりたい。



中丹地域有害鳥獣処理施設

憲法順守の立場から  
安保法制廃止表明を



日本共産党議員団  
伊田 悦子

**質問** 憲法違反とも言われる安保法制強行成立で、自衛隊員から戦死者を出す危険が高まる。市民の命を守る市の責務を果たすため、国に、安保法制廃止。市民の不安・平和の願いを伝えるべき。

**答弁** 国全体の安全保障、国防の観点から、国会において議論し制定されたもの。国全体の安全保障などに関する事項は、国の役割。

**質問** 中学職場体験に自衛隊が含まれている。労働権なく「戦死リスク」が高まる中で保護者からも不安

の声も。一般企業でないことから職場体験から除外すべき。いかがか。

**質問** 子どもの医療費助成拡充を

**質問** 子どもの医療費助成を城陽市も今年9月から中学卒業まで拡充。府の拡充に伴い市負担が軽減されたため。本市も府の拡充をあて拡充すべき。

**答弁** 住んでいる地域によって差が出るということがある。国に対して要望。医療費助成を含め総合的な支援に取り組む。



世界の宝 憲法9条

青少年に対する  
薬物乱用防止強化を



公明党議員団  
杉島 久敏

注意喚起に努めている。

**主権者教育を**

**質問** 京都府において小学6年生の大麻取締法違反事件が発生した。薬物乱用防止強化に関し、本市が実施している教育はどのようなものか。また、学校と家庭・地域との連携強化の取り組みと、学校教職員に対する研修実施状況について問う。

**答弁** 警察や保健所などの協力により、薬物乱用防止教室の実施、教職員に対しては、講習会、月1回を目的に連絡協議会において、情報交換に努めている。また、刊行物を活用し、

**質問** 28年夏の参議院選挙から18歳選挙権が適用となる。児童・生徒に対し、早い段階からの主権者教育を通じ社会参加を促す環境づくりが必要である。

**答弁** 有権者としての力を身に付ける最後の機会であることから、市内全中学校3年生を対象に実践的な教育活動を実施している。教職員には、十分な配慮を心掛けさせている。



薬物乱用防止強化を

平成27年12月7日、8日 本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

### 一般質問

#### 魅力ある・活力ある まちづくりを



新政クラブ議員団  
鯛 慶一

**質問** 交流人口300万人、経済人口10万人都市を目指し、観光戦略拠点の開発・機能強化を進められている中で、市民誰もが目に見えて思えるのが土日祝日の赤れんがパーク周辺の人の動きである。この赤れんがパーク事業が活性化している一因として海上自衛隊の棧橋公開もあるのではないかとと思うが、一つ懸念事項がある。赤れんがパーク駐車場前から自衛隊北吸棧橋までの間、車道への転落防止、横断防止の柵がない。観光客が歩くには危険であると思うが、事故が起きる前に必要な措置を講じるべきと考えられているがどうか。



賑わいのあるまち舞鶴を目指し

**答弁** 赤れんがパーク駐車場から北吸棧橋に至る国道沿いの歩道については、観光客の交通安全に万全を期す観点から、混雑時には国道を挟んだ反対側の比較的道路幅の広い自転車歩行者専用道路を導線として案内するとともに、道路管理者に対しては、防護柵などの設置による安全対策の実施について、要望してまいりたい。

#### 学校を核とした 地域活動の活性化を



創政クラブ議員団  
肝付 隆治

**質問** 文部科学省は、持続可能なまちづくりのため、地域コミュニティの核となる小学校、地区公民館、子育て支援センター、図書館などの公共施設を小学校敷地内に複合化・集約化し、学校を核とした地域コミュニティの活性化を推進しているが、市の方針を問う。

**答弁** 現在、日本各地の地方自治体では地域力の低下が共通課題となっている。地域コミュニティの活性化はまさに地方創生の根幹をなす



子どもたちの登校の様子(余内小学校)

ものであり、自治会運営ハンドブックの作成や加入促進チラシの配布など、市としては今後とも地域コミュニティの核となる自治会の、主体的な活動を積極的に支援する。学校は地域住民の社会体育の場としての体育館の利用など、さまざまな地域のコミュニティの場として活用されているが、自治会活動など地域の活動拠点として学校施設を利用することについては、今後地域の実情を勘案しながらよく検討していく。

#### 心配だらけの マイナンバーは中止を



日本共産党議員団  
小杉 悦子

**質問** マイナンバー制度で多量の個人情報流出や、サイバー攻撃にあわなないという確たる保証があるのか。制度の中止を国に求めるべきと考えるがいか

**答弁** サイバー攻撃の事案が起らないという保証はないものと考えている。制度面とシステム面の両方から対策を講じており、国に制度の中止を求める考えはない。

#### 安心できる介護保険制度に

**質問** ①国は介護保険制度の矛盾の抜本的な改革をせず、介護サービスの切り捨て、利用料の負担増、介護事業者には介護報酬の削減を押し付けてきた。②国に介護保険制度の改善を求めるべきだ。

**答弁** ①制度改正は、一定やむを得ないもの。②試験制度の変更に必要となる研修科目、対象人数、費用などについてよく見極め、検討する。



介護保険制度の改善を

平成27年12月7日、8日 本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は、次のとおりです。12月22日の本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

一般質問・討論



ブックスタート事業

**質問** 乳幼児と小学校一年生に本を贈呈し、読書に親しむ環境を整え、幼い頃からの読み聞かせに始まり、心地良い読書体験を重ねることによって、さらなる親子の絆を深めるブックスタート事業について問う。

読書活動の推進と充実を

**質問** 文科省は、教育現場の課題解決に教員とさまざまな専門家などの力を活用し、学校全体の組織力や教育力を高める「チーム学校」の取り組みを進めようとしている。本市の学校司書・ICT専門員の活用について問う。



公明党議員団 小谷 繁雄

**答弁** 対象は0歳児700人、小学一年生770人。読書を習慣付けるため、図書館では、おはなし会、ブックトーク事業を同様の事業と考え、取り組んでいる。

**答弁** 学校司書の配置はしていないが、学校へはボランティアの方や図書館司書を派遣している。また、ICT支援員を民間委託し、活用支援や教員の研修をしている。今後はICT機器の計画的な配備とともに、充実と連携に努めていく。

全市民に安定ヨウ素剤を配布すべき



日本共産党議員団 石束 悦子

**質問** 福島原発事故に伴い、18歳未満117人の子どもが甲状腺がん、また疑いと診断今年12月2日に15人増えたと報道された。甲状腺がん予防のため、安定ヨウ素剤は必要。そこで①アレルギー体質の子どもや市民は副作用が出るので配布されないという聞き、その対策は。②保育園、幼稚園、学校、障害児・者施設に配布すべき。③全市民に配布すべき。いかがか。

**答弁** ①住民が避難する前で、まだ事故が進展していない段階で先行して避難。②早めの帰宅、または保護者に渡し自治会の住民として避難するので配布計画はない。③今のところ計画はない。



安全でおいしい野菜づくりをする農家

**質問** 政府が大筋合意したというTPPは国会決議に反し、国益を踏みにじるもの。国にTPP条約の調印、国会での批准は許さないと断言すべき。

**質問** 政府が大筋合意したというTPPは国会決議に反し、国益を踏みにじるもの。国にTPP条約の調印、国会での批准は許さないと断言すべき。

**答弁** 国に対し、国民生活全般への影響など明確な説明を行うとともに、総合的な国内対策を講じるよう全国市長会通じ求めている。

マイナンバー制度の中止を求める



日本共産党議員団 小杉 悦子

討

論

国が進めるマイナンバー制度による、新たな条例制定や一部改正だ。市民の個人情報が集積されるがゆえに、故意や過失での流出、サイバー攻撃の対象となりやすく、市民に及ぼす被害は甚大だ。国で決めたことと準備を進める姿勢では、市民の個人情報を守る立場に立った市政運営ではない。国に中止を求めべきだ。

京都地方税機構との課税業務の共同化で軽自動車税が追加される。納付書の作成と送付だ。

舞鶴市文化振興条例制定では、市民が等しく文化活動ができる環境整備、財政措置も含め、実効性のあるものに具体化を要望する。一般会計補正予算では、社会资本整備総合交付金の大幅な削減で幹線道路整備事業費の減額補正となっている。西地区の歴史の道づくり整備事業も国費の配分の状況が厳しいとされた。来年度予算編成では、国などの財源確保に努められたい。



マイナンバー制度の中止を

12月22日の本会議において、提案された議案に対して各党派が討論をしました。

## 文化の振興と 安心安全な施策を



新政クラブ議員団  
水嶋 一明

12月定例会に上程された全議案に賛成する。第89号議案の一般会計補正予算(第3号)では、有害鳥獣対策、引揚記念館の継続的な維持管理、郷土資料館の移転にかかる「債務負担行為」、小・中学校校舎等改修に必要な経費が計上されており、また、第100号議案の条例制定は、本市の文化振興の基本理念を定め、高齢者や障害者の文化活動など、さらなる文化の振興を図る大切な取り組みであり、賛成する。

ユネスコ世界記



多くの来館者が訪れる引揚記念館

憶遺産に登録された引揚記念館には、平成27年度は既に昨年度を上回る10万人の来館者があり、戦争の悲惨さや平和の尊さなどを学ぶことのできる施設として、京都や奈良を訪れる修学旅行生などが舞鶴へ足を運んでもらえるような施策や、農家の皆さんが安定した収穫と収入を得られるよう有害鳥獣対策の充実した取り組み、また、児童・生徒の安心・安全のための小・中学校校舎等改修工事の推進や施策の充実をお願いしたい。

## 小規模農地集積集約に きめ細かな対策を



鶴翔会議員団  
亀井 敏郎

会派を代表し、12月定例会に上程された全議案に対し、賛成の立場で討論する。平成28年度から都道府県に農地中間管理機構が設立された。この制度は、農地の出し手と借り手のマッチングを行い、農地の集約化を推進する制度である。しかしながら全国的にこの制度は低調であると言われ、その要因はさまざまであるが、耕作農地の立地環境が大きく起因していることが考えられる。舞鶴市域における耕作農地の現状では、中山間地域に

は、中山間地域に



中山間地域の農業

点在し、しかも小規模で非常に作業効率が悪くことがある。今、行政に求められているのはこういった小規模農家の現状に即した対策、対応であると考えるところから、市当局においては、この実情、現状をしっかりと認識していただくことを強く求めるものである。また、本年8月から農業委員会委員による「農地集積コーディネート」の活動など、地域の実情を熟知している農業委員の活動に大きく期待するものである。

## 市民生活の充実と 安全・安心の推進を



創政クラブ議員団  
伊藤 清美

今12月定例会に上程された全議案に対し賛成する。第89号議案、平成27年度一般会計補正予算について、引揚記念館の整備、改修事業などに用途を特化した支援を広く全国に呼び掛けたふるさと納税制度の拡充や、イノシシやシカなどの捕獲数増加に伴う有害鳥獣被害防止対策、学校体育館のつり天井の耐震化工事などの校舎等改修事業費など市民生活の充実や安全・安心の推進に必要な事業予算である。

第94号議案の個



個人番号の適正な管理・取り扱いを

人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例制定について、制度自体は社会保障や税分野で役所間の情報共有が容易になること。災害時に要支援者の情報が得られること。個人の資産状況、健康状態の把握などこれまで以上に適切な給付が公平性をもってできることなどがある。一方で、国民の個人情報流出の懸念が指摘されている。本市として適正な管理・取り扱いがなされるようセキュリティ対策などお願いする。

12月22日の本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。  
 本会議において付託された議案は23件で、予算決算委員会5件、経済消防委員会3件、民生環境委員会3件、建設委員会5件、総務文教委員会7件を、それぞれの委員会で審査しました。

**討論**  
**常任委員会の審査報告**

**市民目線での力強い  
 事業推進を要望**



公明党議員団  
 杉島久敏

今12月定例会に上程された23議案に対し、賛成の立場で討論する。平成27年度一般会計補正予算は減額予算となった。事業費は約2億円である。しかし、ふるさと応援推進事業による寄付金を引揚記念館整備に活用するなど交流人口増加につながる事業が展開されている。その他、農林水産事業費においては増加傾向にある有害鳥獣被害対策に関して、捕獲報償費の追加など農作物被害防止対策に積極的な取り組みが見られる。また、水産業費においては、既に成果が実証されている漁場

環境測定装置整備支援により、丹後とり貝の生産増加が見込まれる。土木費に関しては、大きな減額となっているが、和泉通線、引土境谷線の整備事業においては、交通渋滞の緩和、地域の発展、高速道路網へのアクセスなど、さまざまな利点が見込まれることから、市民の要望に応えるため市民目線で力強く事業を進めていただくことを要望し、一般会計補正予算に賛成する。



市民の要望に市民目線で

**経済消防委員会**

**舞鶴市文化振興条例を制定**

舞鶴市文化振興条例は、長期的、安定的に文化政策に取り組むため、文化の振興に関する基本理念や市の基本的施策などを定めるものであるとの説明がありました。

討論において、賛成の立場から、基本理念の規定にとどまらず、具体的な施策に結びつくよう取り組まれ、市民の意見も聞きながら進められることを期待するとの意見がありました。

舞鶴市文化施設条例の一部を改正する条例は、舞鶴市民会館が、築後47年を経過し、施設の老朽化で継続運営は難しく、建物の取り壊しは避けられないと判断し、平成28年2月末で閉館することに伴い、同施設に係る規定を削除するものであるとの説明がありました。

**民生環境委員会**

**西地区多機能施設の夜間の利用時間を延長**

質疑では、閉館後1年間、総合文化会館1館体制での利用状況などの検証を行い、平成28年度末に、新たな文化ホールの整備の必要性について判断するとの答弁がありました。

舞鶴市西地区多機能施設条例の一部を改正する条例は、西公民館及び郷土資料館の西地区多機能施設への移転に伴い、同施設の料理室、教養文化室、職業訓練室及びトレーニングルームを廃止するとともに、夜間の利用時間を午後10時までに変更するものであるとの説明がありました。

舞鶴市国民健康保険条例と舞鶴市介護保険条例の一部を改正する条例は、マイナンバー制度に伴い、国民健康保険料と介護保険料に係る減免や徴収猶予などの申請書、届出書に個人番号の記載を追加するとともに、普通徴収に係る減免などの申請期限を納期限までに改めるものであるとの説明がありました。

**総務文教委員会**

**マイナンバーを老人医療費助成等に本市が独自利用**

質疑において、この工事は技術的難度が高く、市外業者に頼らざるを得なかったが、分割可能な工事は市内業者への発注を優先し、技術的難度の高い工事は市内業者を含む共同企業体方式で発注していきたいなどの答弁がありました。

**建設委員会**

**東浄化センター汚泥処理設備などに係る工事請負契約を締結**

東浄化センターの汚泥処理設備及び電気設備の工事請負契約は、供用開始から36年経過し、老朽化により支障を来している汚泥濃縮設備、脱水設備及び電気設備の工事の契約を締結するものであるとの説明がありました。

討論において、反対の立場から、個人情報流出の恐れがある中で、マイナンバー制度は実施すべきでなく、中止すべきであるとの意見

常任委員会の  
審査報告

本会議において付託された議案は23件で、予算決算委員会5件、経済消防委員会3件、民生環境委員会3件、建設委員会5件、総務文教委員会7件を、それぞれの委員会で審査しました。

がありました。

舞鶴市市税条例等の一部を改正する条例は、地方税法の改正に伴い、徴収猶予及び換価猶予に係る規定の整備、市税の減免申請期限の延長などの改正を行うものであるとの説明がありました。

質疑において、市税の徴収猶予期間中の延滞金の率は、災害・病気などの場合は全額免除となるなどの答弁がありました。

京都地方税機構規約の変更は、同機構の事務に軽自動車税の課税に必要なデータ作成などの事務を追加するための規約変更協議の議決をお願いするものであるとの説明がありました。

討論において、反対の立場から、ほとんどの課税事務を税機構に移管すれば、課税自主権の堅持ができないとの意見がありました。

予算決算委員会

5件とも全員賛成で可決

平成27年度舞鶴市一般会計補正予算(第3号)について、ふるさと応援推進事業は、本市に縁のある方々に、世界記憶遺産を後世に伝えることの意義をPRし、引揚記念館の整備などに特化した寄付を呼び掛け、5万円以上の寄付者に対して市内の加盟店で利用できる商品券を返礼品として送るものであること。

電気自動車急速充電器改修事業は、民間事業者による有料急速充電器の増加を後押しするため、月平均101台の利用がある市所有の充電器を有料化するもので、利用料金を1分15円とすること。

有害鳥獣被害防止対策事業は、イノシシなどの捕獲頭数が当初の見込みを大きく上回るため、捕獲報償費の増額補正を行うものであることなどの説明がありました。

討論において、賛成の立場から、ふるさと応援推進事業は、ふるさと納税の用途を引揚記念館の整備、改修などに特化することにより、「ユネスコ世界記憶遺産のために協力したい」という思いを形にする制度であり評価するとの意見。

電気自動車急速充電器改修事業は、環境にやさしい電気自動車の普及を目的に導入された事業であり、市民がさらに利用しやすいよう工夫されたいなどの意見。

有害鳥獣被害防止対策事業は、イノシシやシカなどの捕獲に積極的に取り組まれており、評価するとの意見や、市の体制をさらに強化されたいとの意見がありました。

反対討論はありませんでした。

可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

		議決をした日																				
林三弘	山本治兵衛	今西克己	上野修身	岸田圭一郎	鯛慶一	福村暉史	眞下隆史	水嶋一明	和佐谷寛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	後野和史	井上孝空	亀井敏郎	松岡茂長	西村正之	
創政	創政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	鶴翔	鶴翔	鶴翔	無会派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月22日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月22日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月22日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月22日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	11月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月22日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	12月22日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	12月22日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月22日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	12月25日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月25日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	12月22日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	12月22日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月25日

☆舞鶴市議会の議員定数は 28 人です。

# 議案・請願の採決結果

(平成 27 年 12 月定例会)

会期：11 月 27 日～ 12 月 25 日

11月27日、12月22日及び25日の本会議での議案採決の結果は、次のとおりです。  
この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。  
この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。

## 全会一致で可決した 予算議案

- 平成 27 年度舞鶴市一般会計補正予算（第 3 号）
- 平成 27 年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算（第 2 号）
- 平成 27 年度舞鶴市下水道事業会計補正予算（第 3 号）
- 平成 27 年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算（第 2 号）
- 平成 27 年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 1 号）

## 全会一致で可決・同意した その他の議案

- 工事請負契約について（東浄化センター汚泥処理設備工事）
- 工事請負契約について（東浄化センター電気設備（その 1）工事）
- 工事請負契約の変更について（公営住宅（三宅団地建替第 2 期）東棟新築工事）
- 工事請負契約の変更について（公営住宅（三宅団地建替第 2 期）西棟新築工事）
- 市道路線の認定について
- 監査委員の選任について

## 全会一致で可決した 条例議案

- 舞鶴市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市市税条例等の一部を改正する条例制定について
- 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市郷土資料館条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市公民館条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市文化振興条例制定について
- 舞鶴市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市文化施設条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市西地区多機能施設条例の一部を改正する条例制定について

## 全会一致で可決した 議員提出議案

- 原子力防災・安全等調査特別委員会の名称及び設置目的の変更について
- 農業委員会委員の解任請求について
- 農業委員会委員の推薦について
- 舞鶴産のお茶の生産振興及び普及促進に関する条例

## 賛否が分かれた議案および請願

議員名簿等（会派内は五十音順）		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	伊藤清美	尾関善之	肝付隆治	桐野正明	高橋秀策	谷川眞司
								創政	創政	創政	創政	創政	創政
市長提出議案	舞鶴市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○
	舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	京都地方税機構規約の変更について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
議員提出議案	北陸新幹線誘致特別委員会の設置について	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
	市議会の権限に属する事項中市長の専決処分事項の一部変更について	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
	国際平和支援法と平和安全法制整備法の廃止を求める意見書(案)	28	27	4	23	0	否	×	×	×	×	×	×
	T P P 協定書作成作業から撤退し、調印しないことを求める意見書(案)	28	27	4	23	0	否	×	×	×	×	×	×
	使用済核燃料中間貯蔵施設建設に関する決議(案)	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
	住民の理解を得ないままの高浜原発 3・4 号機の再稼働に反対する決議(案)	28	27	4	23	0	否	×	×	×	×	×	×
請願	高浜発電所 3・4 号機の再稼働に関する決議(案)	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
	建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願	28	27	5	22	0	不	×	×	×	×	×	×
	原発の使用済核燃料の中間貯蔵施設設置反対に関する請願	28	27	4	23	0	不	×	×	×	×	×	×
	高浜発電所 3・4 号機の再稼働に関する請願	28	27	23	4	0	採	○	○	○	○	○	○

# 請願・決議、特別委員会の活動報告、 3月定例会予定、編集後記

## 請願・決議

12月定例会では、請願3件のうち1件を採択、決議案3件のうち2件を可決しました。その請願と決議の要旨は次のとおりです。

### ▽高浜発電所3・4号機の再稼働に関する請願

商工業者にとって、電力とは「産業の大動脈」で、これ無しに事業の運営はできない。国のエネルギー政策が正しく実行されるためにも、左記の事項について、市議会の意思を表明していただくよう請願する。

1 新規制基準適合により安全性が確認された高浜発電所3・4号機の早期の再稼働を容認するよう求める。

2 再稼働後の安全性の確保については、「安全にはゴールがない」との認識の下、国と事業者が一体と

なって万全を期するよう求める。

3 万一の際の住民避難については、地元自治体の首長を先頭に、国の責任と権限において関係自治体との連携の下、関係住民の安心につながる万全の体制を構築するよう求める。

### ▽使用済核燃料中間貯蔵施設建設に関する決議

中間貯蔵施設は、国のエネルギー政策において必要とされる施設であるが、舞鶴市は高浜発電所の5km圏、PAZを有しており、これまでから国のエネルギー政策に協力してきたところであり、舞鶴市での建設は受け入れられないものである。

### ▽高浜発電所3・4号機の再稼働に関する決議

福島原発事故を教訓として、縮原発から脱原発に向かうべきであるが、現状では安全で環境に優しく、安定供給できる代替エネルギー

## 特別委員会の活動報告

### 原子力防災・安全等特別委員会

平成27年12月15日に請願1件の審査を行い、同月24日に「高浜発電所に係る舞鶴市住民説明会」の質問などに対する回答につい

て、原子力規制庁、資源エネルギー庁、内閣府、関西電力の担当者から、それぞれ説明を受け、そのあと請願1件の審査を行いました。

12月15日に委員会を開催し、「北陸新幹線小浜ルート」について調査を行いました。

1に転換できるまで、安全を大前提として原発に頼らざるを得ない。原子力防災対策や市民の理解など、再稼働に関する不安が解消されたわけではないが、市民生活や地域経済の発展のためには、安定的な電力供給が重要であり、市民の不安解消や十分な安全対策に取り組むことを前提として、新規制基準に適合する高浜発電所3・4号機の再稼働を容認する。

## 編集後記

平成28年、初春の「まいづる市議会だより」。

この1年、昨年12月定例会において選出された6名の編集委員により取り組んでまいります。「まいづる市議会だより」を通して各議員の議会活動の様子はもとより、議会がなおいっそう市民の皆様にご理解・信頼いただけるよう努めてまいります。

なお、本年から4常任委員会、特別委員会の視察報告も掲載いたします。紙面に限りはありますが、今後も市民の皆様のご意見を伺いながら、よりわかりやすく、充実した内容となるよう努力いたしますのでよろしくお願いたします。

(上野修身委員長)



【議会報編集委員会】

委員長	上野 修身	副委員長	伊田 悦子
委員	井上 孝空	委員	肝付 隆治
委員	杉島 久敏	委員	眞下 隆史

## 3月 定例会予定

### 2月

2月29日(月)本会議(開会)

### 3月

3月4日(金)請願受理締切  
 9日(水)本会議(代表質問)  
 10日(木)本会議(一般質問)  
 11日(金)本会議(一般質問、質疑)  
 14日(月)予算決算委員会分科会・常任委員会  
 15日(火)予算決算委員会分科会・常任委員会  
 16日(水)予算決算委員会分科会・常任委員会  
 17日(木)予算決算委員会分科会・常任委員会  
 23日(水)予算決算委員会  
 28日(月)本会議(閉会)

※予定は変更することがあります。